

入院診療計画書 (人工股関節全置換術を受けられる方へ 10日間)

患者番号:

患者氏名:

様

(患者さん用)

主治医:

印

病棟担当看護師:

この入院診療計画書に同意します

主治医以外の担当者:

その他コメディカル氏名:

病棟(病室):

年 月 日

本人・家族または代理人署名欄(続柄:)

病名:
 症状:

患者さんからの要望

項目	月日	入院日 ~ 手術前日	手術当日 時間 (:)		術後1日目
		~	手術前	手術後	
達成目標		<ul style="list-style-type: none"> 入院中の流れが理解できる。 手術翌日について理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術のための身支度ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 痛みや不快感が少なく過ごすことができる。 異常時、医療者に伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 両足をつき、体重をかけて車椅子乗車ができる。 痛みや異常を知らせることができる。 脱臼しやすい体位が分かり注意できる。(パンフレットP25~30) リハビリへ参加できる。 筋力トレーニングが行えている。(パンフレットP32~34)
治療・薬剤(点滴・内服)・処置		<ul style="list-style-type: none"> 同意書に名前を記入してください。 内服薬は、ご自身で管理し看護師が確認します。 管理が難しい場合は、看護師が時間薬をお渡しします。 	<ul style="list-style-type: none"> 麻酔科の指示で常用薬を、内服する場合があります。別途看護師より説明いたします。 化粧・マニキュアを落として下さい。 痛みが強い時には鎮痛剤を使用します。看護師にお伝えください。(鎮痛剤の点滴を継続投与する場合があります。) アクセサリ、入れ歯、時計などは必ず検査着に着替えませす。 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴をします。(1日中) 酸素マスクを装着します。 終了時間は看護師よりお伝えします。 本日のみ内服薬は中止です。 痛みが強い時には鎮痛剤を使用します。看護師にお伝えください。(鎮痛剤の点滴を継続投与する場合があります。) 肺血栓塞栓症予防のため、専用の機械で両足をマッサージします。 ※手術や病状により行わないこともあります。 車椅子に乗り次第終了となります。 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴は10時過ぎ終了予定です。 抗生剤の点滴を行います。(朝から1日2回、朝・夕/2日目まで) 痛み止めの内服をします。(1日2回、朝・夕/7日目まで) 血栓の予防として、薬剤の注射または内服をする場合があります。 血栓予防のため、退院まで弾性ストッキングを着用してください。
検査		<ul style="list-style-type: none"> 採血があります。 検温(日中1回)を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 検温(手術前)を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 検温時、採血があります。 検温を行います。(4時間毎、その後は状態に応じて行います) 	<ul style="list-style-type: none"> 朝、採血があります。 検温(1日3回、朝・昼・夕)を行います。
安静と活動床ずれ予防		<ul style="list-style-type: none"> 移動の制限はありません。 転倒予防について別途説明します。 入院中は皮膚の観察を行います。 必要に応じて車椅子操作・ベッド上の体の向きの変え方の練習を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術の時間まで病棟でお過ごし下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ベッド上で座ることができます。 床ずれ予防のため、寝返りは看護師がお手伝いします。 寝返りの時は、脚にクッションをはさみます。 自分で寝返りはしないでください。 看護師がお手伝いします。 床ずれが発生しやすい部位の皮膚の観察を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 医師・看護師付き添いの下、車椅子乗車を開始します。 午後、病室にてリハビリを開始します。 両足をつき、両方の足に体重をかけて移動します。 痛みはありますが、両足に体重をかけてください。
食事		<ul style="list-style-type: none"> 夜中の24時から食事ができません。 水分の制限については麻酔科医師から説明があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事ができません。飲水時間は別途でお伝えします。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事ができません。 腸の動きが確認出来れば飲水することが出来ます。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝から食事開始です。
清潔		<ul style="list-style-type: none"> 手術部位の清潔を保つためシャワー浴します。自宅で入浴できる方は自宅で入浴して下さい。 		<ul style="list-style-type: none"> うがいはできます。 	<ul style="list-style-type: none"> 体拭き・着替えをお手伝いします。
排泄		<ul style="list-style-type: none"> トイレで行います。(入院中は一日の排泄回数を確認します) 		<ul style="list-style-type: none"> 手術室にて尿道に管を入れてくるので、自然に尿が出ます。 	<ul style="list-style-type: none"> 車椅子での移動が安定次第、尿の管を抜きます。 お一人での移動が安全に行えるまで看護師が付き添います。
特別な栄養管理の必要性		特別な栄養管理の必要なし		管理栄養士	
その他 看護計画 栄養指導 服薬指導 等		<ul style="list-style-type: none"> 主治医・麻酔科医・手術室看護師の説明があります。 同意書をいただきます。 入院中の流れについて説明します。 入院中の内服薬の管理方法について、説明します。 外来で渡された手術のしおりを用いて手術の説明を行います。 ご不明な点は不安な事は医師や看護師にご相談ください。 	<ul style="list-style-type: none"> 柄の長い、靴べら・マジックハンド等を、準備してください。 手術部位にマーキングが行われているか確認をします。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後は痛みや筋力低下があり、体を充分に支えられません。 手術前のように体が思うように動かないため、転倒には充分注意してください。 ベッドで横を向く際は、股の間に枕やクッションをはさんでください。 手術した側を下にして横を向かないようにしましょう。(退院後に主治医の許可が出るまで行ってください。パンフレットP25~30) 	

注1) 病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにたがって変わることも予想されます。
 注2) 入院期間については現時点で予想されるものです。




入院診療計画書（人工股関節全置換術を受けられる方へ 10日間）

患者番号:

患者氏名:

様

(患者さん用)

月日	術後2日目 ~ 5日目	術後6日目 ~ 7日目	術後8日目	術後9日目	術後10日目 ~ 退院
項目	~				
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 病棟で歩行器での歩行練習ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> DVDを視聴し、退院後の生活へ準備ができる。 病棟で杖歩行練習ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 杖歩行が安定する。 階段昇降、屋外歩行ができる。 シャワーに入ることができる。 退院に向けて準備ができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 退院できる。
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置	<ul style="list-style-type: none"> 2日目に医師が手術創を消毒します。 ガーゼやフィルム内が汚れたら、状態に応じて消毒をします。 2日目まで抗生剤を点滴します。(1日2回 朝・夕) 痛み止めを内服します。(1日2回、朝・夕/7日目まで) 痛みが強い時は鎮痛剤を使用しますので、看護師にお伝えください。 		<ul style="list-style-type: none"> 手術創に貼っているフィルムをとりず。(8日目) 	<ul style="list-style-type: none"> 痛みが強い時は鎮痛剤を使用しますので、看護師にお伝えください。 	
検査	<ul style="list-style-type: none"> 採血(朝)があります。(3日目) 	<ul style="list-style-type: none"> 採血(朝、6日目)があります。 レントゲン検査があります。(午後、6日目) 			
安静と活動 床ずれ予防	<ul style="list-style-type: none"> 看護師付き添いの下、歩行器歩行を開始します。 慣れてきたら、主に歩行器で移動します。 	<ul style="list-style-type: none"> 看護師付き添いの下、杖歩行練習を開始します。 慣れてきたら、主に杖を使用し歩行します。 	<ul style="list-style-type: none"> 訓練室で杖を使用し歩行練習を行います。 階段の昇り降りや自宅での生活に合わせた日常動作の練習を行います。 		
食事	<ul style="list-style-type: none"> 退院まで食事制限はありません。 				
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 手術創を保護するテープを貼り次第シャワーに入れます。(手術後2日目以降) シャワーに入れない間は週1~2回、体拭きや足浴・シャンプーを行います。 		<ul style="list-style-type: none"> 医師により手術創を確認後、シャワー浴をすることができます。 シャワー浴は安全に行えるまで看護師がお手伝いします。 (介助が必要な場合は、週1~2回程度行います) 		
排泄	<ul style="list-style-type: none"> リハビリ状況に応じて、移動手段を歩行器や杖に変更しトイレへ行きます。 トイレは洋式を使用してください。 (脱臼予防のため退院後も和式は使用しないでください) 				
その他 ・看護計画 ・栄養指導 ・服薬指導 等	<ul style="list-style-type: none"> ベッドで横を向く際は、股の間に枕やクッションをはさんでください。 手術した側を下にして横を向かないようにしましょう。(退院後に主治医の許可が出るまで行ってください。パンフレットP25~30) 手術後6日目以降に日常生活動作の注意についてのDVDを視聴します。 DVDはご希望があれば何度でも視聴できます。 手術後は痛みや筋力の低下があり、体を充分に支えられません。 手術前のように体が思うように動かないため、転倒には充分注意してください。 				
			<ul style="list-style-type: none"> 緊急連絡先: 045-787-2800 <平日: 8:30-17:00> 整形外科 <夜間: 休日> 救急外来 整形外科の医師へ受診、または相談したい旨をお伝えください。 		

注1) 病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることも予想されます。
注2) 入院期間については現時点で予想されるものです。